

令和6年度 第1回 習志野市災害医療対策会議 部会

資料3【確認・検討事項】

病院前救護所案の中で、下記は確認・検討が必要な事項であり、第1回部会にて整理して参ります。

検討優先順位	事項		資料1ページ	内容	備考
1	確認事項	各病院の災害モード基準	4	各病院はどのような状況下で災害モードとしているか。 また、各病院の災害モードと案の設置基準は合致しているか。	合致していない場合は調整する必要がある。震災は突如生じ連絡手段が得られないことが想定されるため、基準の震度で自動参集・設置する方法としたい。
2	検討事項	医薬品について	10	病院前救護所・病院にて医薬品の処方箋を発行した場合は、病院最寄りの薬局にて処方とし、各病院最寄りの数か所の薬局を開設することとしてはどうか。 その場合、薬剤師会員は開設する薬局と病院前救護所にそれぞれ参集とするか。	
3	検討事項	運営協力	5	三師会・市職員の参集に時間が要する場合、または参集人数が少人数だった場合、病院職員の協力は可能か。	発災の時間帯・被災状況に応じては、外部メンバーが参集するには時間を要す可能性がある。早期設置し早期にトリアージを開始することで、来院者を速やかに整理し病院の混乱を回避できるため案として提示したい。
4	検討事項	情報伝達共有方法	10	病院・病院前救護所の情報は病院へ情報集約し一本化とするでよいか。 また、病院と病院前救護所間のやりとりにも有効な手段はどのような方法か。（トランシーバー・PHS等）	
5	検討事項	病院前救護所必要人員数	5	・各病院前救護所にどの程度の人員が必要か。 考えられるものとして ☒ トリアージ・ペア（医師と補助者）…何ペアか ☒ 治療ペア（医師と補助者）…何ペアか ☒ 受診者を誘導する者 ☒ 院内へのトリアージ黄・赤を搬送する者 ・参考として、現在の済生会習志野病院等の病院前救護所の人員配置を伺いたい。	必要人員を打ち出し、それを踏まえ必要なテントの大きさ・設置に必要なスペース・必要物品数等を検討していきたい。 現段階で人員不足が明らかな場合、人員確保の調整も検討していく。
6	検討事項	傷病者の流れ・搬送	7	・原則、トリアージ黄・赤は全てトリアージ後ダイレクトに院内へ搬送でよいか。 ・病院の稼働状況にかかわらず、トリアージ赤については、病状安定処置は可能か。（病院が傷病者受入れが困難となった場合も病状安定処置は可能か） ・原則被災地内病院では大手術・大量輸血・透析等極力行わずのため、トリアージ赤は全て広域搬送依頼となるか。 ・災害拠点病院である済生会習志野病院もその他3病院と同様の体制でよいか。 ・病院によって、受け入れ対象者を整理した方がよいか。（○病院は、トリアージ赤は安定化処置後搬送、□病院は、トリアージ黄・赤共に受け入れする方向、△病院は透析患者受け入れOK 等）	
7	確認事項	設置場所の条件	8	条件は妥当か、その他条件はないか。	
8	確認事項	必要物品と保管場所	8	その他に想定される必要物品はないか。	

